

# **令和5年度 第2回消費喚起クーポン券事業 参加店向けアンケート結果**

**令和6年9月  
鶴岡市消費喚起対策事業実行委員会**

# 実施概要

本事業の効果を評価・分析するため、参加店 991 店舗を対象としたアンケート調査を実施しました。

## (1) アンケートの実施方法

- ・ 調査実施期間 令和6年5月20日～令和6年6月20日
- ・ 調査対象 参加事業者854者（991店舗）
- ・ 回答状況 489事業者より回答（回答率57.3%）
- ・ 調査方法 郵送によりアンケート送付・HPでの告知  
（未回答事業者に対し、はがき及びFAXにて協力再依頼）
- ・ 回答方法 アンケートに付された二次元コードからの  
オンライン回答、郵送またはFAXにより回答

## (2) アンケート結果概要

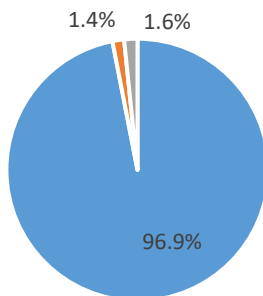
- ・ 半数以上の事業者が「消費喚起クーポン券事業は消費喚起効果があった」と感じており、実際に売り上げ増化に繋がっていると回答。
- ・ 約3割の事業者が新規来店者数が増えたと回答。
- ・ 第1回、第2回事業と同様の手法で事業実施を希望する事業者が7割以上となった。

# 回答結果 1

**問1 本クーポン券事業に関するそれぞれの対応について、感想をお聞かせください。**

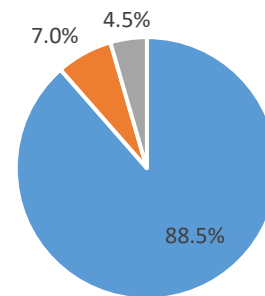
A) 実施方法については、概ね「簡単だった」との回答でした。

問1-1 参加手続きや利用準備について



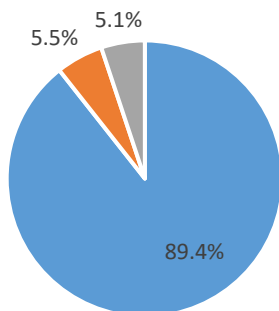
■ 簡単だった 474 ■ 難しかった 7 ■ 無回答 8  
参考 第1回 簡単だった：97% 難しかった：2.4%

問1-2 レジ業務・精算手続きについて



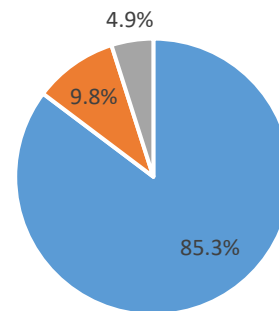
■ 簡単だった 433 ■ 難しかった 34 ■ 無回答 22  
参考 第1回 簡単だった：91.7% 難しかった：8.3%

問1-3 換金手続きについて



■ 簡単だった 437 ■ 難しかった 27 ■ 無回答 25  
参考 第1回 簡単だった：93.8% 難しかった：7.2%

問1-4 売上管理(帳簿等)について

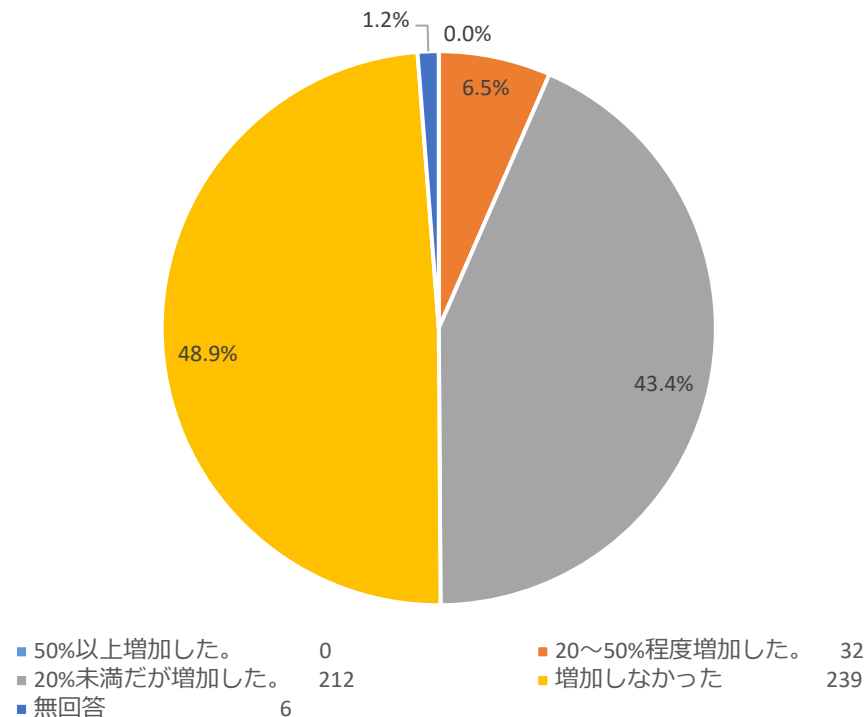


■ 簡単だった 417 ■ 難しかった 48 ■ 無回答 24  
参考 第1回 簡単だった：90.8% 難しかった：9.2%

# 回答結果 2

問2 本クーポン券事業によりどのくらい売り上げが増加しましたか。

A) 約半数が「増加した」と回答しています。

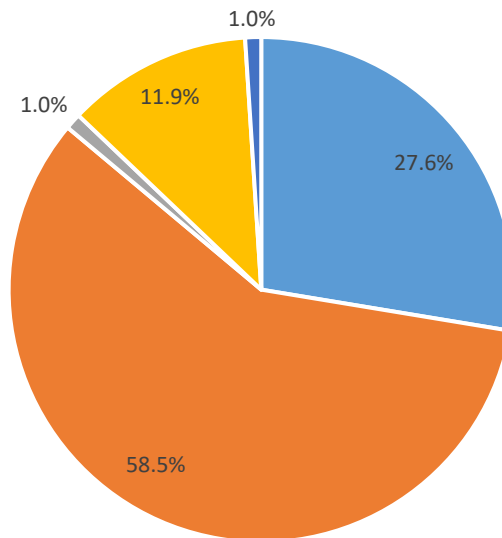


参考 第1回 50%以上増加0.2% 20~50%程度増加12.7% 20%未満だが増加44.1% 増加しなかった43%

# 回答結果 3

問3 新規のお客様の来店(決済数)は、クーポン券事業を始める前と比べ変化しましたか。

A) 約3割が「増えた」と回答しています。



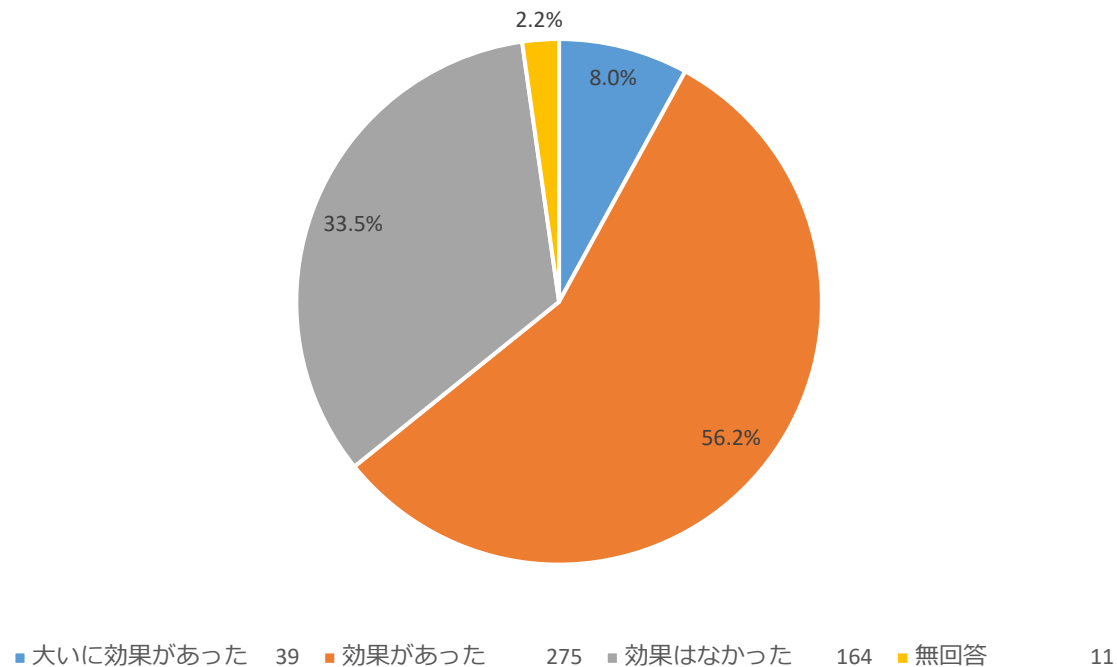
|         |     |         |     |       |   |
|---------|-----|---------|-----|-------|---|
| ■ 増えた   | 135 | ■ 変わらない | 286 | ■ 減った | 5 |
| ■ 分からない | 58  | ■ 無回答   | 5   |       |   |

参考 第1回 増えた32.6% 変わらない54.9% 減った0.5% 分からない12.1%

# 回答結果 4

## 問4 本クーポン券事業は消費喚起効果があったと思いますか。

A) 「大いに効果があった」「効果があった」が、約65%を占めています。



参考 第1回 大いに効果があった11.9% 効果があった65.4% 効果はなかった22.7%

# 回答結果 5

(問5) 本クーポン券事業の良かった点や改善点がありましたら教えてください。(自由記載)

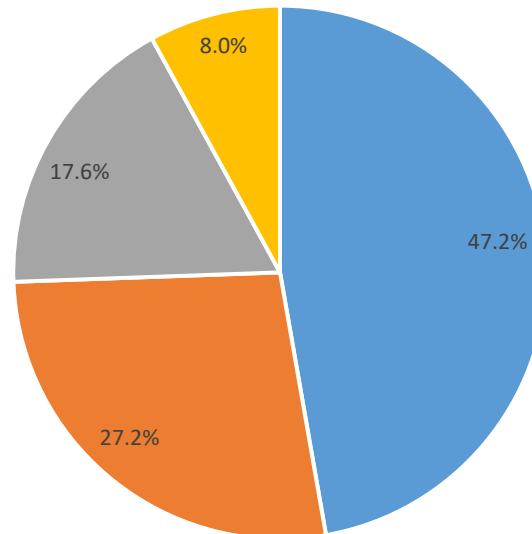
A) 事業に対しての感想を集約した結果、以下の通りとなりました。

| 良かった点                  |    | 改善点                  |    |
|------------------------|----|----------------------|----|
| 実施方法がわかりやすかった。         | 11 | 共通券のみにしてほしかった。       | 39 |
| 新規のお客が増えた。             | 10 | 電子版にしてほしかった。         | 32 |
| 売上が増えた。                | 7  | 事務手続きが面倒だった。         | 22 |
| 飲食券で効果があった。            | 5  | 売上に効果はなかった。          | 11 |
| 全市民に公平に配布で良かった。        | 5  | 一人当たりに配布する金額が少ない。    | 10 |
| 実施時期が良かった。             | 5  | 実施方法がわかりにくかった。(飲食券等) | 10 |
| 客単価が上がった。              | 2  | 商品券にしてほしかった。         | 6  |
| クーポン券の倍以上の売上となり効果があった。 | 1  | 閑散期に実施してほしい。         | 4  |
| 事務手続きが簡単だった。           | 1  | 店舗への周知が不足していた。       | 2  |

# 回答結果 6

**問6 第一回に引き続き、クーポン券（割引券）の方式で実施しました。  
今後消費喚起事業を実施する場合、どのような方式がよいと思われますか。**

A) 今回と同様に、「クーポン券」及び「プレミアム付き商品券」を希望される店舗が、7割以上を占めました。



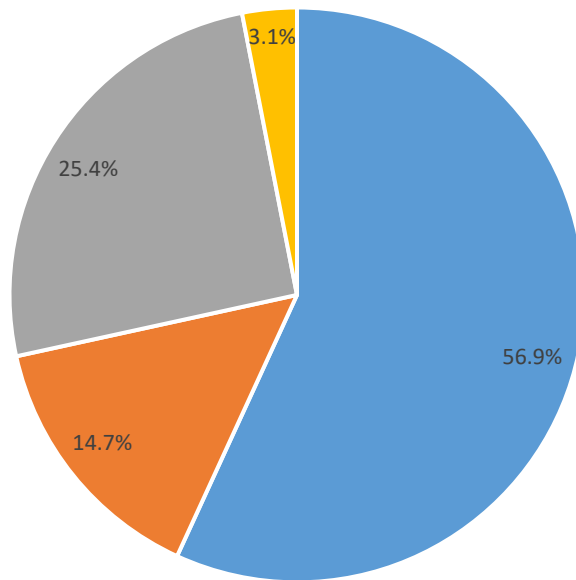
■ クーポン券(割引券) 231  
■ プレミアム付き商品券 133  
■ 既存の支払い等の活用 86

参考 第1回 クーポン券55% プレミアム付き商品券28% 既存の支払い等の活用11%

# 回答結果 7

問7 今回のクーポン券事業も紙版のみで実施しました。今後、同様の取組を行う場合、どのような方式がよいですか。

A) 今回と同様に、「紙版」での実施を希望される店舗が5割以上を占めました。



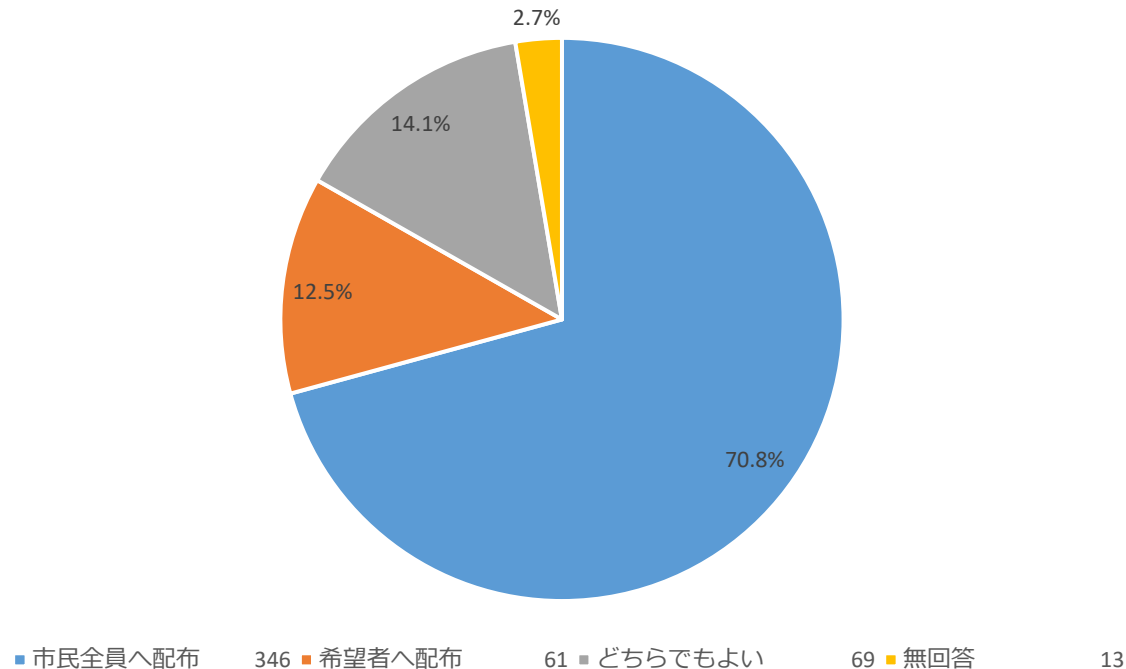
■ 紙版 278 ■ 電子版 72 ■ 紙版と電子版の併用 124 ■ 無回答 15

参考 第1回 紙版62.1% 電子版15.5% 紙版と電子版の併用22.5%

# 回答結果 8

**問8 第一回に引き続き、クーポン券を市民全員へ配布する方式としました。今後、消費喚起事業を実施する場合、どのような方式がよいと思われますか。**

A) 今回と同様に、「市民全員へ配布」での実施を希望される店舗が7割以上を占めました。



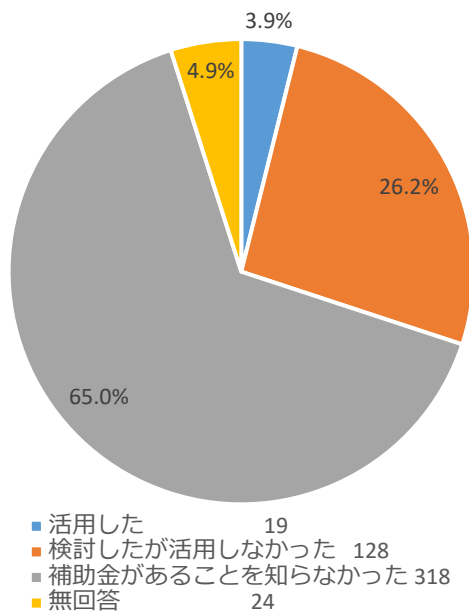
参考 第1回 市民全員への配布77.1% 希望者へ配布9.6% どちらでもよい13.3%

# 回答結果 9

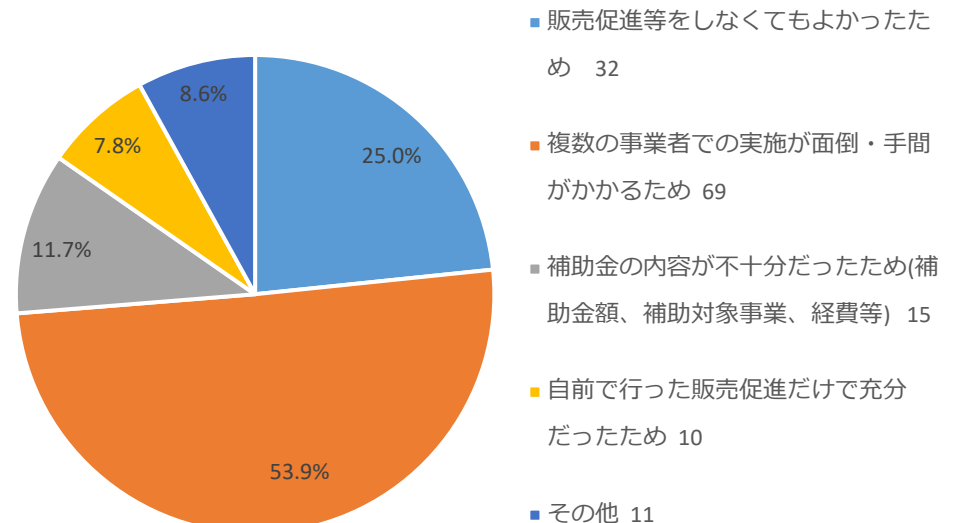
問9 本クーポン券事業の期間中に、誘客や販売促進に係る経費の一部を補助する「連携事業補助金」についてお伺いします。

A) 「知らなかった」「検討したが活用しなかった」が90%を超えています。

問9-1 連携事業補助金の活用は検討しましたか



問9-2 [検討したが活用しなかった]理由を教えてください



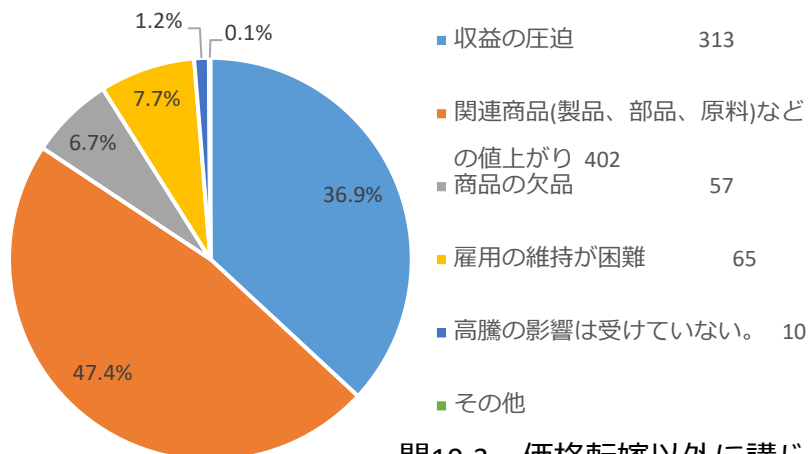
# 回答結果 10

問10 お店の経営についてお伺いします。

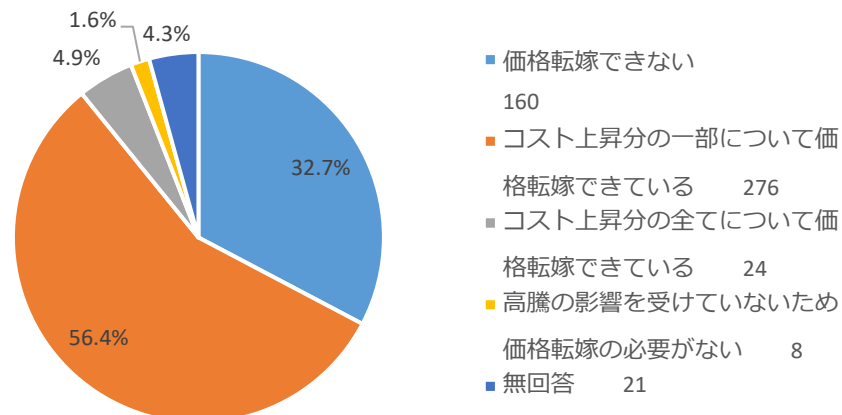
原油・原材料価格の高騰による影響について教えてください。(複数回答可)

A) 関連商品の値上がりが収益を圧迫しているという結果となっています。

問10-1 生じているマイナスの影響について教えて



問10-12コスト上昇分のうち、価格転嫁の状況について



問10-3 価格転嫁以外に講じている対策について

